

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【公開番号】特開2009-101157(P2009-101157A)

【公開日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2009-019

【出願番号】特願2008-265901(P2008-265901)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 5 0 Z

A 6 1 B 6/00 3 3 3

A 6 1 B 6/00 3 0 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月11日(2011.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

撮像は、今日の外傷評価及び介入的処置（インターベンション）において重要な役割を果たしている。撮像は、患者の状態が直ちに生命を脅かす訳ではない場合、及び創傷の範囲がはっきりしない場合の創傷評価に用いられる。病院環境では、超音波及びX線撮影が広く利用可能となっており、一般に用いられている。

【特許文献1】米国特許第5 1 8 2 7 6 4号明細書